HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者 野中 広俊
2025／11／1
No.32

業務を担う中で発生する問題が職場の声で改善されている実感はありますか？

八地申第1号 「JR東労組八王子地本第29回大会発言に基づく申し入れ」団体交渉

八王子地本第29回定期大会における発言を基に、10月22 日に八地申第1号交渉を開催し、職場での不安や悩みなどの実態を出してきましたが、職場の声に応えていると感じられない回答が出されています。

第1項　各箇所において要員需給が厳しく支社からの兼務や相互運用で出面を確保している現状である。要員を確保し、休日出勤に頼らず希望通りの年休が取得できるよう是正すること。また、兼務や相互運用の際の教育・訓練は確実に実施すること。

会社回答　業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。（以下略）

社長が会見で鉄道事業の必要人員は 34000 名。現在は 40000 名と話している。支社の見解は？	必要な要員は確保している。休日出勤がない状態がベストな状態。

休日出勤がない状態にしたいと言いながら、必要要員は確保している発言に終始！

２０２４年度　八地申第１号交渉・２項での会社回答
繁閑により凹凸はあるが、必要な要員は確保されている。
休日出勤や超勤があることは良しとは考えていない。

昨年の交渉と同じ様な回答
この1年で対策を立てたように見えない

休日勤務や超勤は増えているのか？	増えている実態。いろいろな要因がある。生活サービス事業にも取り組んでいく中で、各職場で担っているため業務量が増えている。

休日出勤や超勤が増えているのに、要員は確保していると述べるのは矛盾していないか？

第3項　旅行需要の拡大により、中央線特急の一人乗務は車内改札業務が全車両終わらない現状があるため、車内秩序維持も含め車内改札要員を確保し料金逋脱防止を図ること。

会社回答　新たな着席サービスが定着し、車掌の社内巡回・改札業務が変化したことから乗務体制の見直しを行っているものであり、一人乗務を基本とした乗務体制を変更する考えはない。（以下略）

料金逋脱の問題で会社はどこまで容認するのか？	事前購入の原則に則り対策をしている。

それは当たり前のことであり納得できる回答でない。回答が硬直的である。社員の声や発意に対し、支社の硬直的な姿勢はいかがなものか？その回答では納得いかない。

お客さまの実態や職場の声を把握した上で、料金逋脱防止をどうするのかを考えないのか？把握した後に何をしたか？	把握は常に行っている中で、一人乗務で行い臨時の乗務を行わない回答になる。

お客さまの実態や職場の声を把握していると言いながら、一人乗務を変えない発言に終始！

２０２４年度　八地申第１号交渉・６項での会社回答
新たな着席サービスが定着し、車掌の車内巡回・改札業務が変化したことから乗務体制の見直しを行っているものであり、一人乗務を基本とした乗務体制を変更する考えはない。

昨年交渉と同じ
「一人乗務」ありきの回答！
こんな回答では
改善を図るように見えない！

私たちは職場の声を基に、安全で働きやすいＪＲ東日本を労使で創るため議論を重ね、現場における危機感を訴えてきました。しかし現場の感覚との乖離をこのままにして安全安定輸送は保てるのでしょうか？

職場で声を上げ、安心して働きやすい職場を私たちから創り出そう！